

医学研究センター

フェローシップ部門

片桐 岳信
(部門長)

1. 部門概観

<部門員構成>

部門長	片桐岳信 (KATAGIRI Takenobu)	：ゲノム医学研究センター病態生理部門：教授（任期：H30.3.31）
副部門長	高田 綾 (TAKADA Aya)	：法医学：教授（任期：H30.3.31）
部門員	森 茂久 (MORI Shigehisa)	：医学教育センター：教授（任期：H30.3.31）
部門員	名越澄子 (NAGOSHI Sumiko)	：総合医療センター消化器・肝臓内科：教授（任期：H30.3.31）
部門員	石原 理 (ISHIHARA Osamu)	：産婦人科学：教授（任期：H30.3.31）
部門員	鈴木正彦 (SUZUKI Masahiko)	：保健医療学部・臨床検査学科：教授（任期：H30.3.31）
部門員	淡路健雄 (AWAJI Takeo)	：薬理学：准教授（任期：H30.3.31）
部門員	村松俊裕 (MURAMATSU Toshihiro)	：国際医療センター心臓内科：教授（任期：H30.3.31）

<活動目的>

研究科委員会や医学教育センター大学院教育部門との連携のもとに、常勤教員以外の研究者（非常勤研究者）の経済的・身分的支援を目的とする。

<業務>

1. 奨学生の選考
2. 非常勤研究員の審査・登録
3. 非常勤研究員の身分証明
4. 専攻生授業料免除の審査
5. 各種非常勤研究員の身分的位置づけおよびその他の支援体制の確立
6. 上記と関連して規定集（専攻生、協力研究員、特別協力研究員、特任研究員）の確認
7. 研究支援制度に関する議論と提案

2. 平成29度の活動

- (1) 「私費外国人留学生等奨学生」の制度は、一旦の休止を経て、学長および医学研究センター長の下承のもと、平成25年4月より暫定的に再開されている。平成29年度も「平成30年度私費外国人留学生等奨学生」の公募を行い、日本人専攻生1名を候補者として選考した。その後、候補者より就職内定による辞退の申し入れがあり、下承された。
- (2) 暫定的な運用の中で、国際化や日本人大学院生等の支援に関して議論された。しかし最終的な結論は得られず、次年度の公募に向けた重要課題として引き続き議論することとなった。
- (3) H29年度末で構成員全員が任期を迎える。次期は、例外的にH30年度単年度の任期で原則的に全員が留任する予定である。なお、鈴木正彦部門員（保健医療学部・臨床検査学科）は、小林直樹部門員（保健医療学部・臨床工学科）と交代の予定である。

3. 現状と今後の課題の総括

<新しい研究支援制度について>

平成24年度よりの議論を踏まえて、新しい研究支援制度に関する議論と提案を行う。

<暫定的な支援制度について>

新制度が実施されるまで、現状に即して暫定的な支援を実施する。

<英語版公募案内の作成について>

今後の「私費外国人留学生等奨学生」の公募に備え、英語版の公募案内も作成する。

<定例会議とメール会議>

それぞれの課題について迅速に結論を出すため、基本的に毎月1回程度の、メール会議を行う。